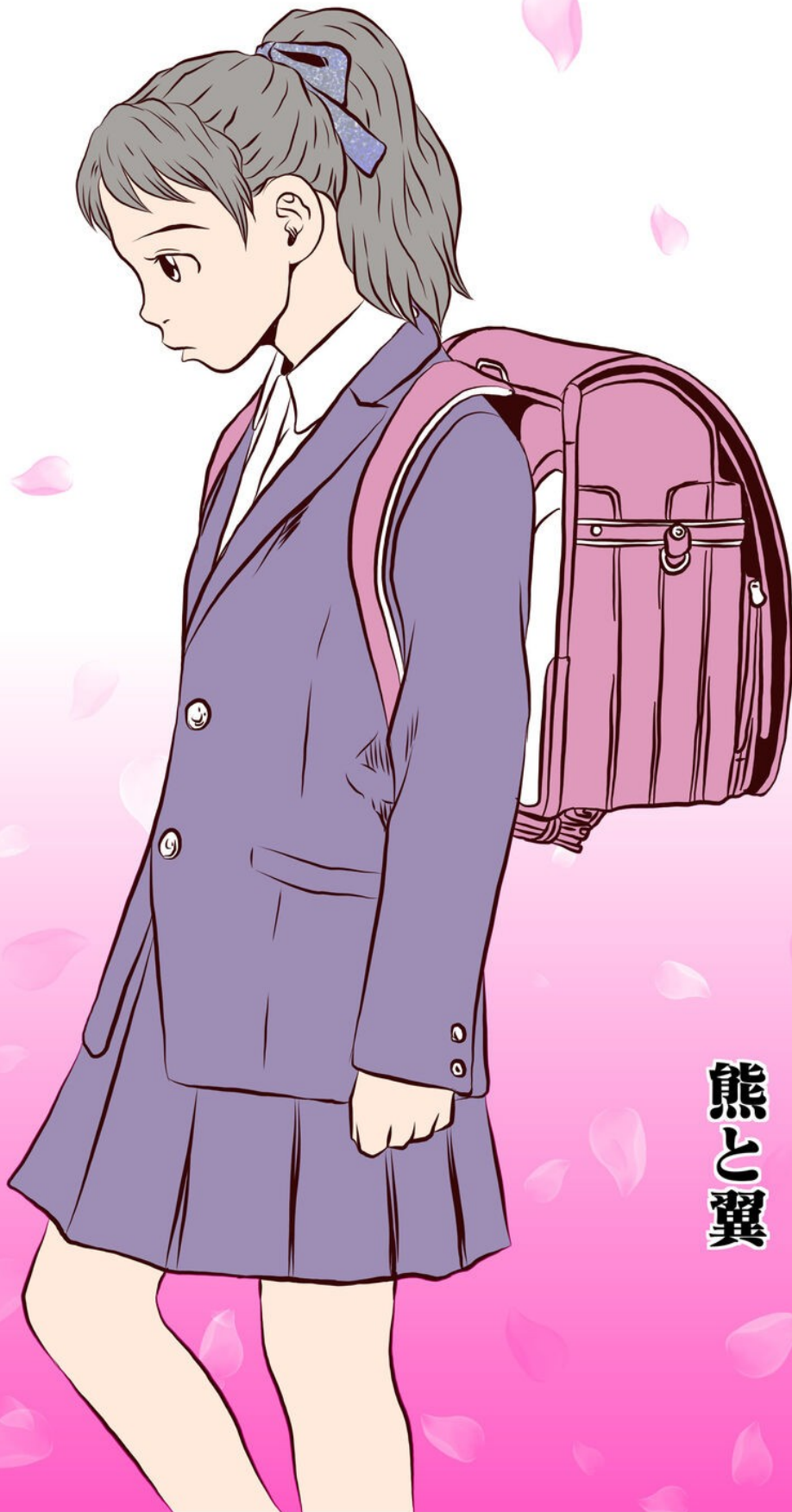


永い夜…



熊と翼



娘が妊娠している...





同じ学校に
彼氏がいると
聞いています

この事を
彼は知って
いるのか？
だろうか？

ヒィッ
ッ



どっちにしろ
早いうちに
話し合いの場を
持たなければ

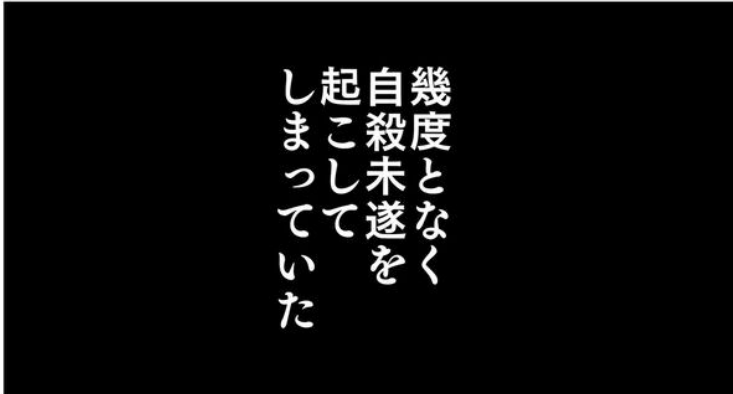
娘はまだ
高校2年生

人生を大きく
踏み外して
しまう恐れが
ある…

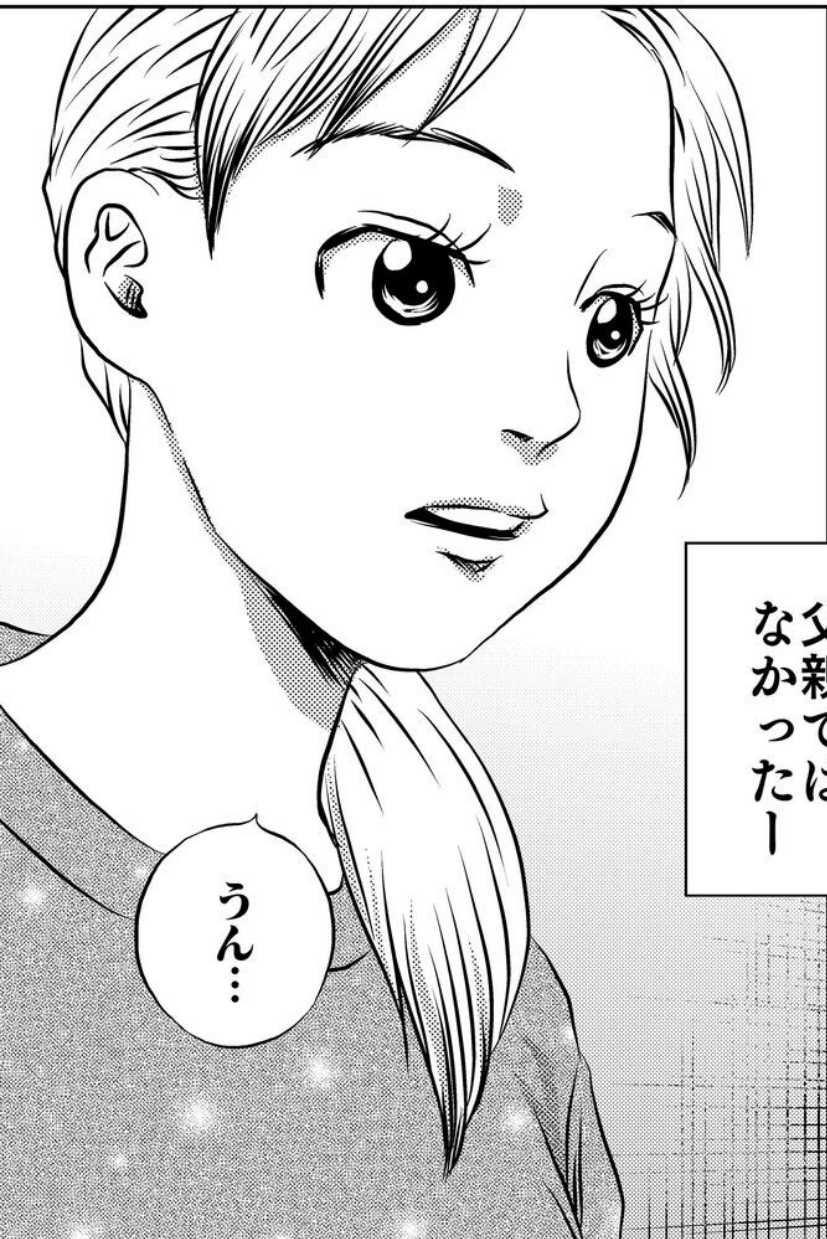
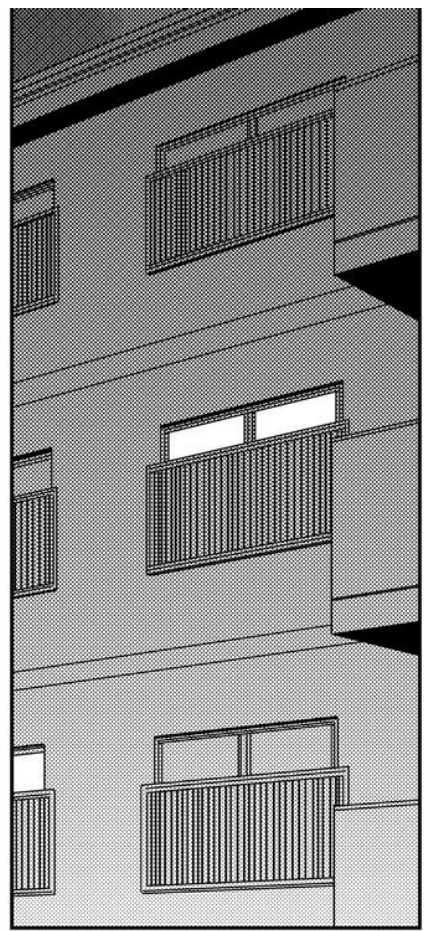
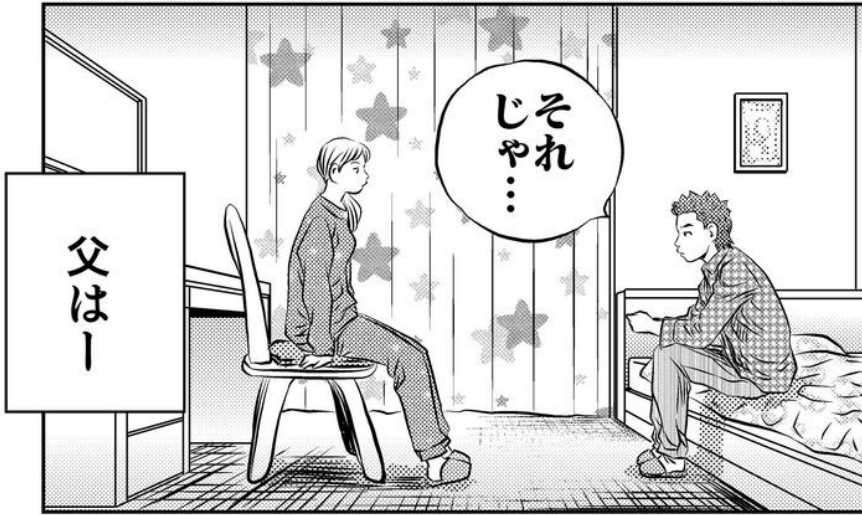


だげど
ここ数年

娘との関係は
ぎくしゃく
していたー



MONA

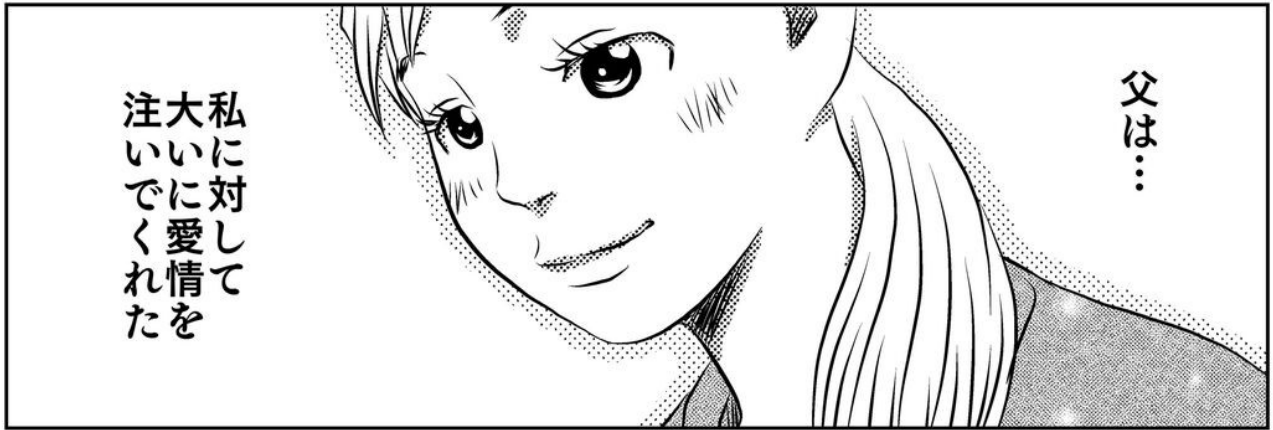




私が幼稚園の頃に

まだ父は大学生だった

バイト先で知り合った母と結婚した



父は…

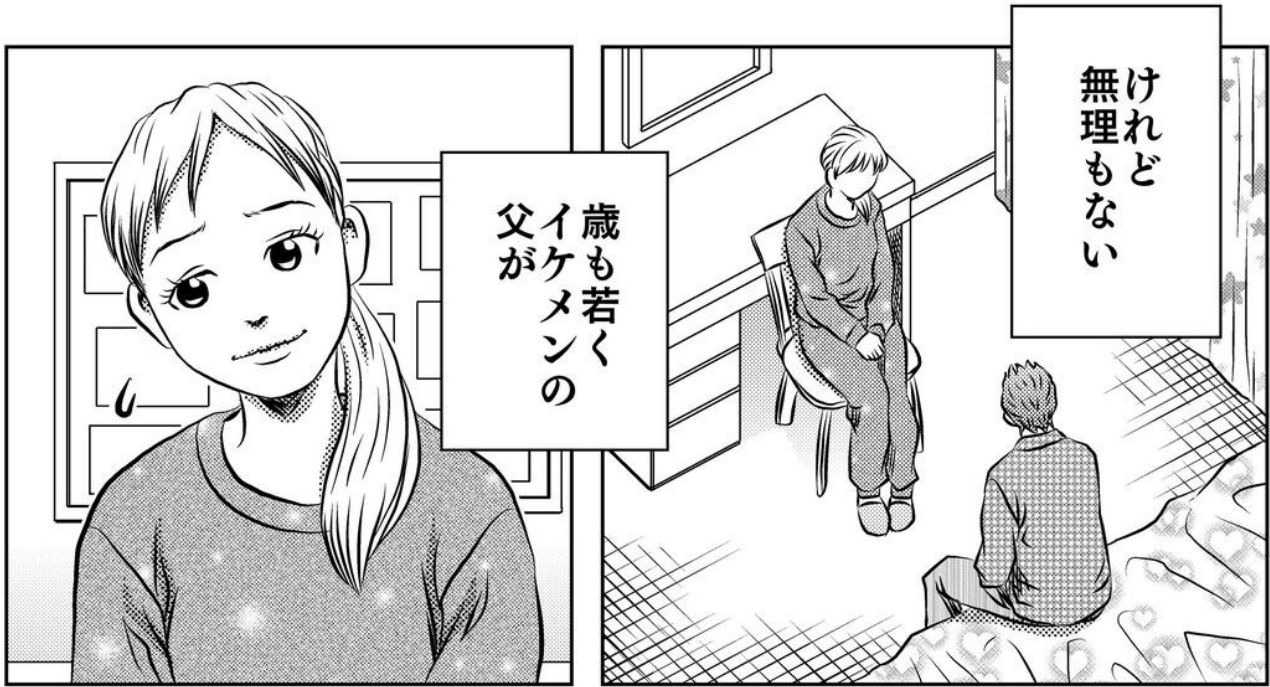
私に愛情を注いでくれた



反面まだ若かったこともあった

浮気を繰り返しては

母のことを悩ませていた



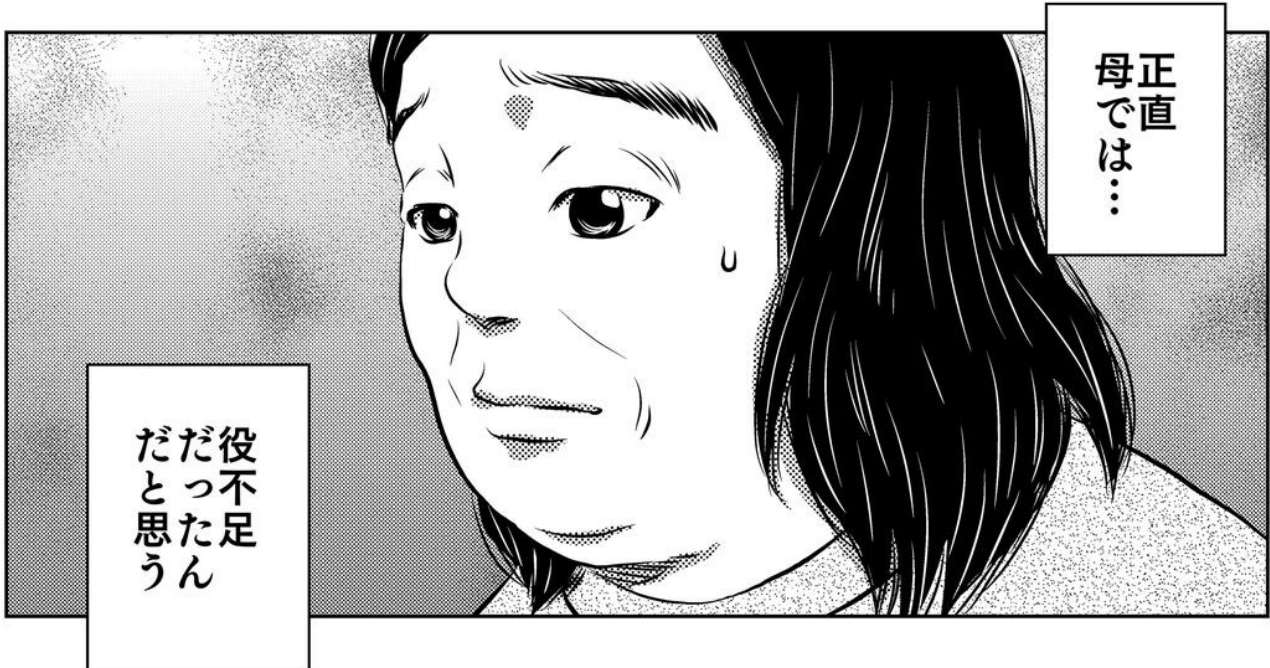
歳も若く
イケメンの
父が

無理もない
けれど



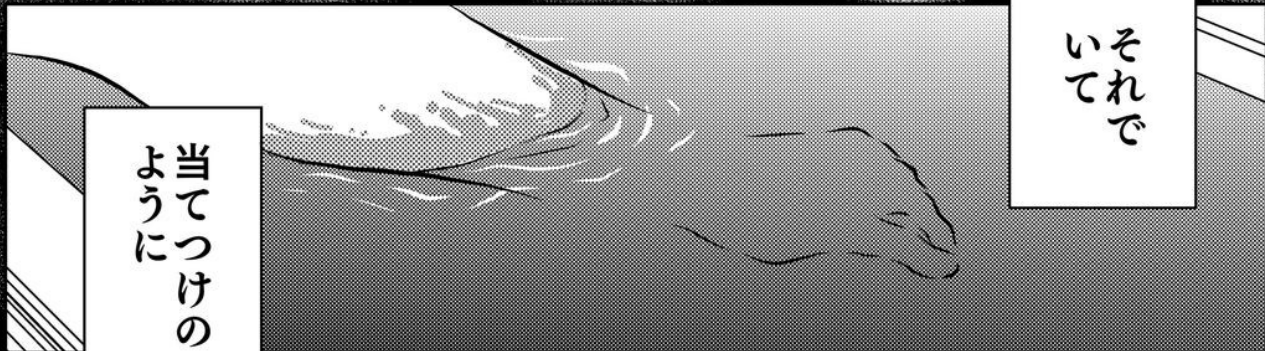
奥さんをも
らったんだ

9つもの
年上



正直母では...

役不足
だった
と思う



それで
いて

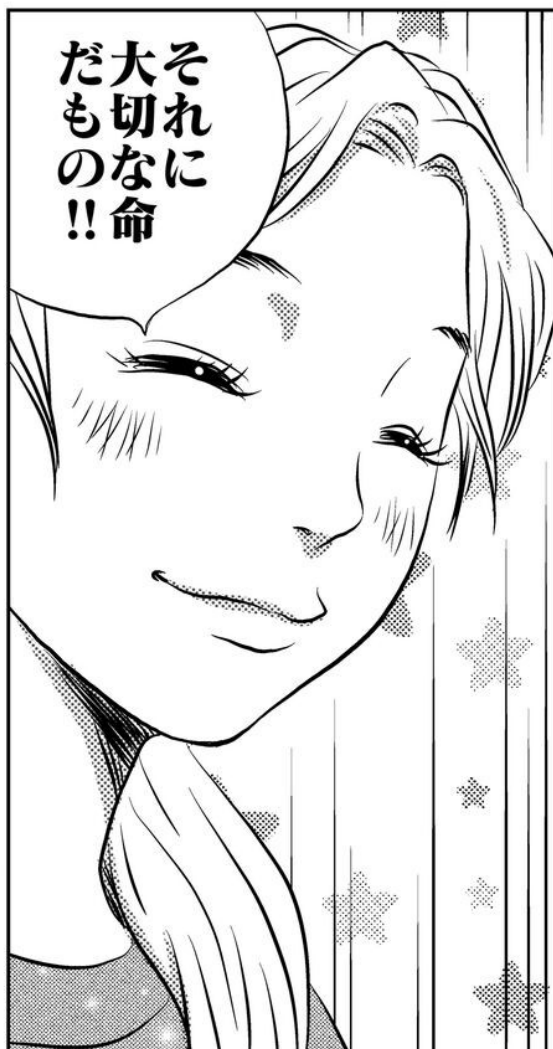
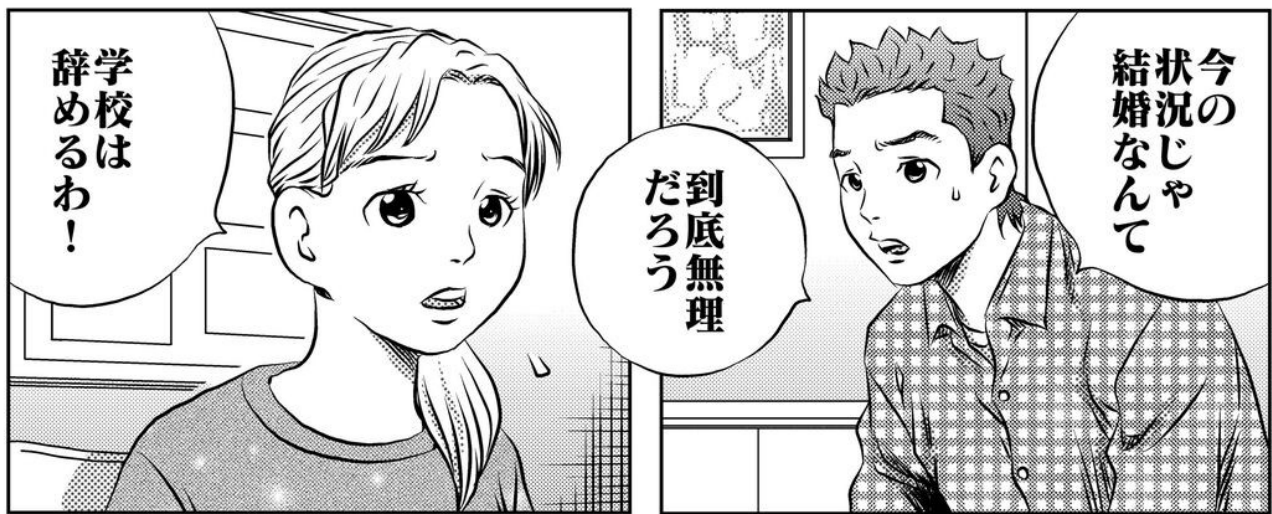
当てつけの
ように

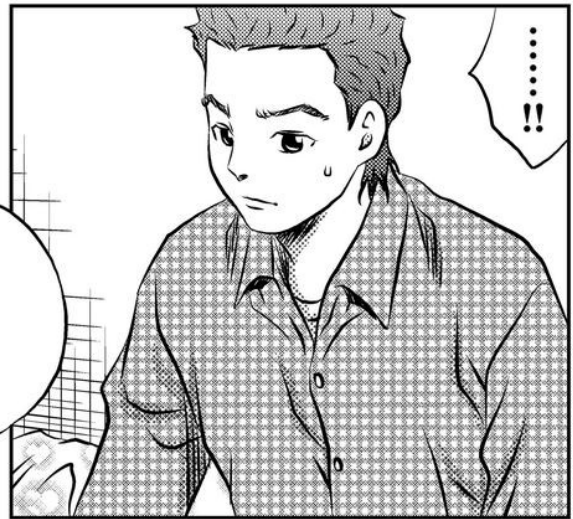
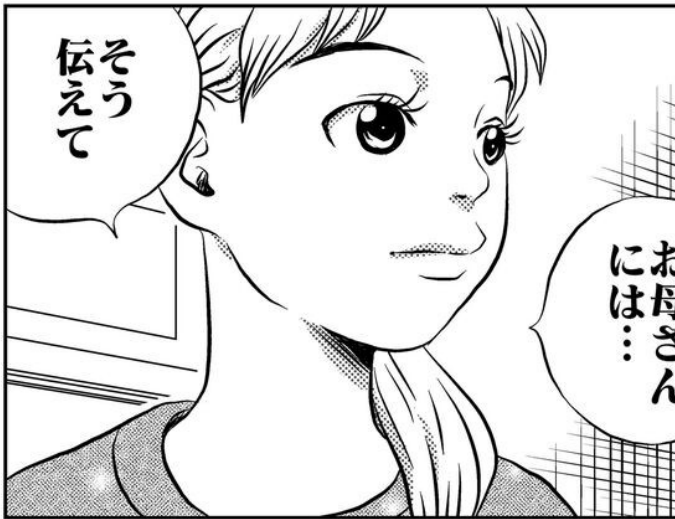


自殺未遂を
繰り返した
母親のことを

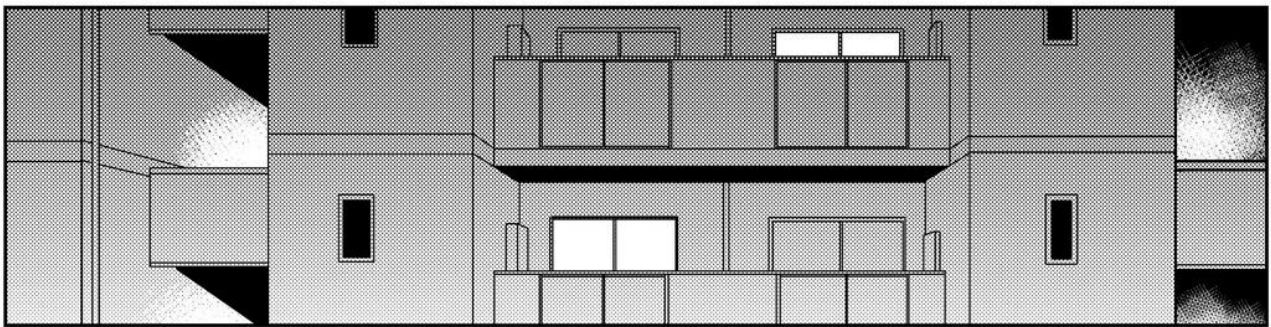


私はひどく
軽蔑していた





お母さん
には…





だけど
まさか…

自分の人生を
犠牲にして
までも

赤ちゃんを
産みたいなんて
言うとは思わ
なかったわ



ほら
一度あの子の
弟だか妹を

妊娠した
時があつた
じゃない？

ああ



そのことを
告げると
あの子…

勉強でも
お手伝いでも
何でもする
から

その子は
堕してつて

カッ

ッ

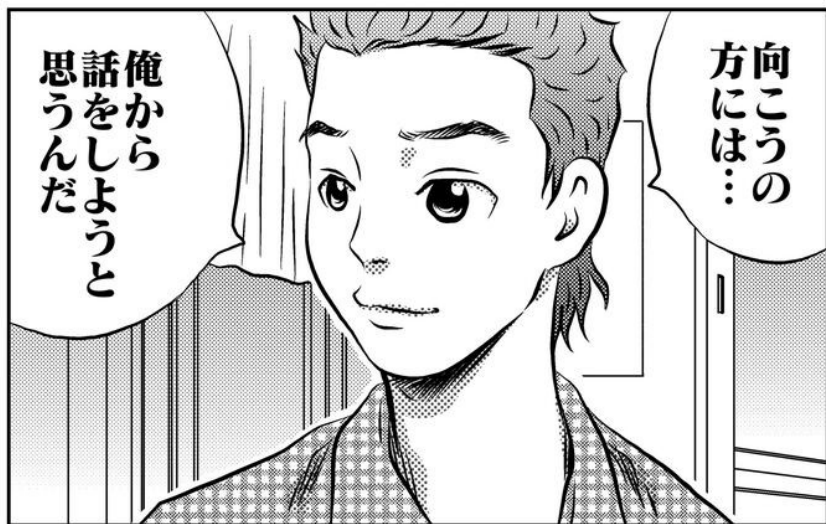
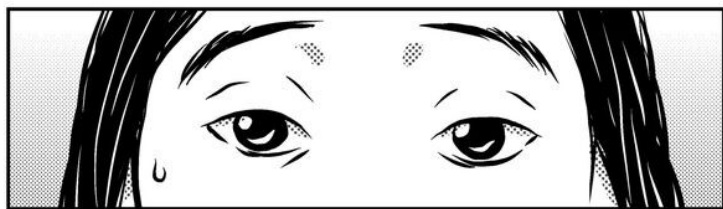
下に子が
生まれる
ことによつて
よつぽど...

家族の中で
孤立すると
思つたん
でしようね

正直それ程
命に対して
ドライだった
あの子が

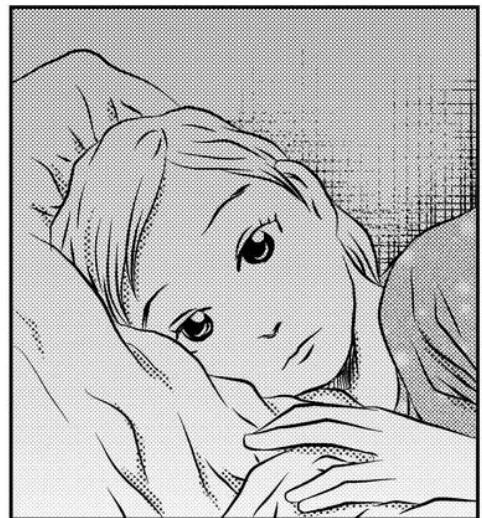
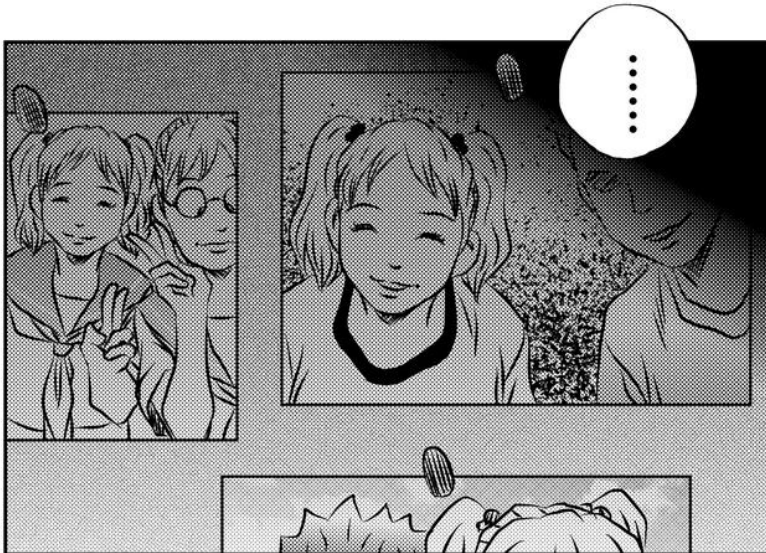
産むことを
選択する
なんて...

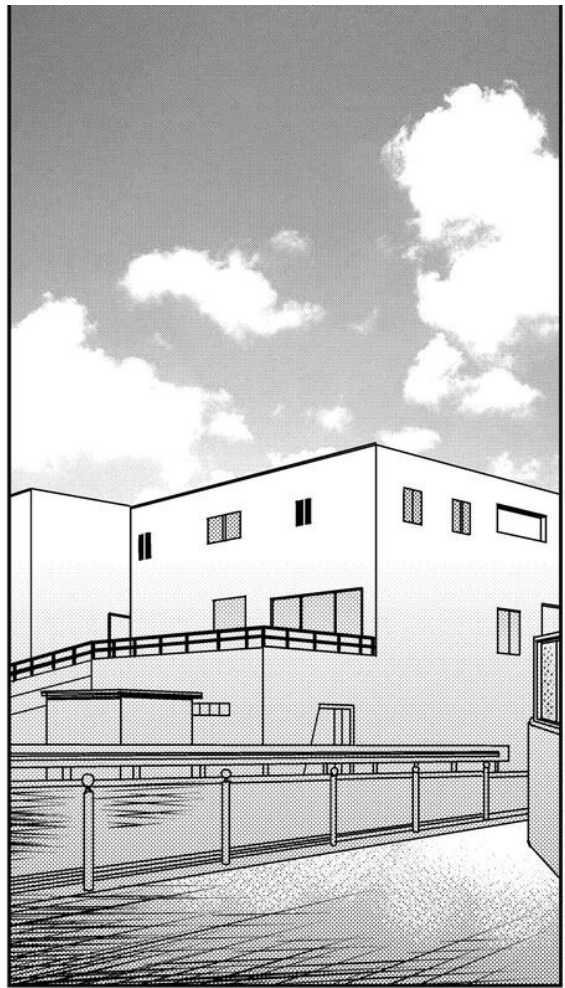
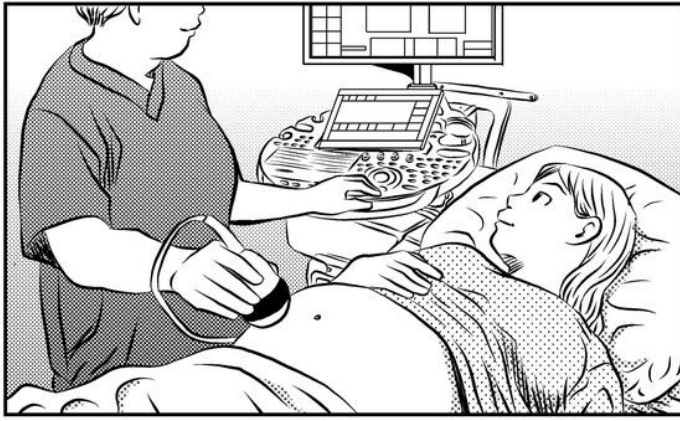
.....



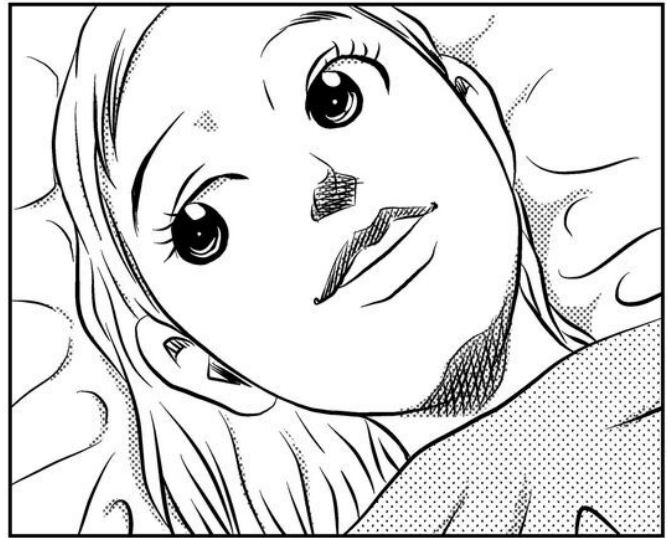


君は何も
心配しなくて
いいから!

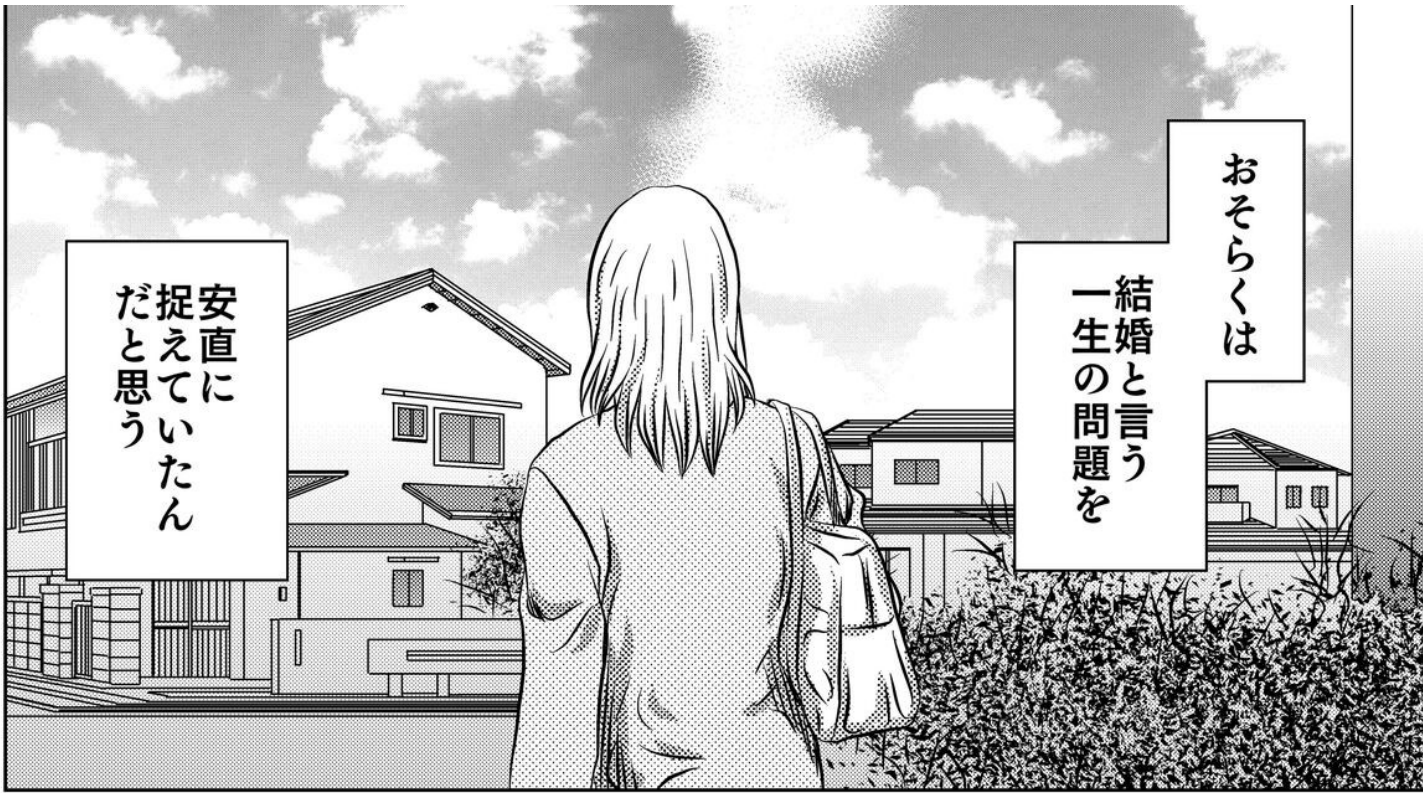




私を
産んだの
か
知らない



母が…
私の実の父と
どういう
経緯で結婚し



おそらくは

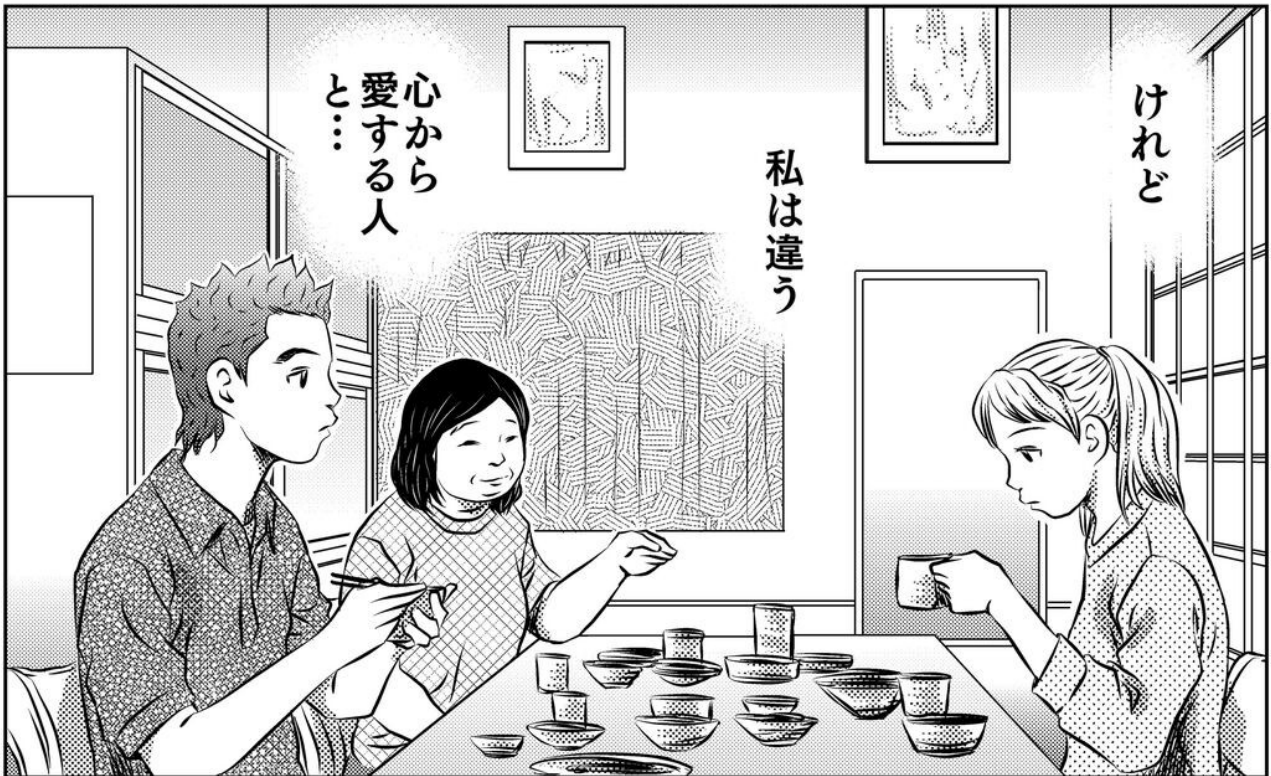
結婚と言う
一生の問題を

安直に
捉えていたん
だと思う



だから
なんとなく
子を産み

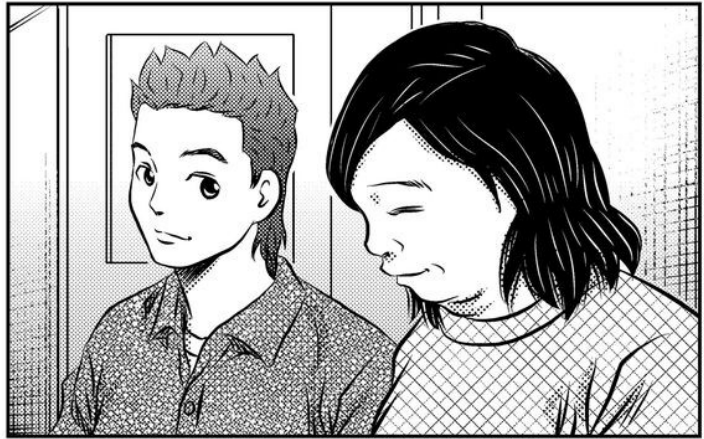
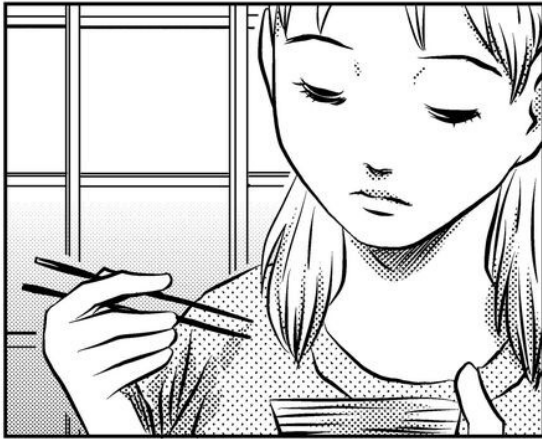
簡単に
離婚する
ことが
できたんだ



けれど

私は違う

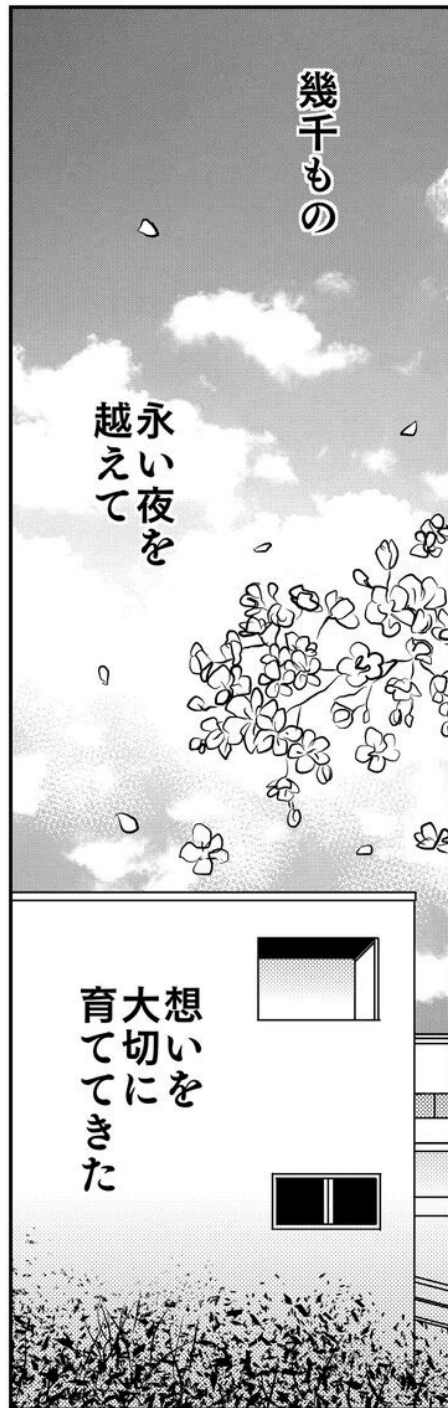
心から
愛する人
と…



お母さん…

いづれ
彼のことは
紹介する
つもりです

その前に
私は…



幾千もの

永い夜を
越えて

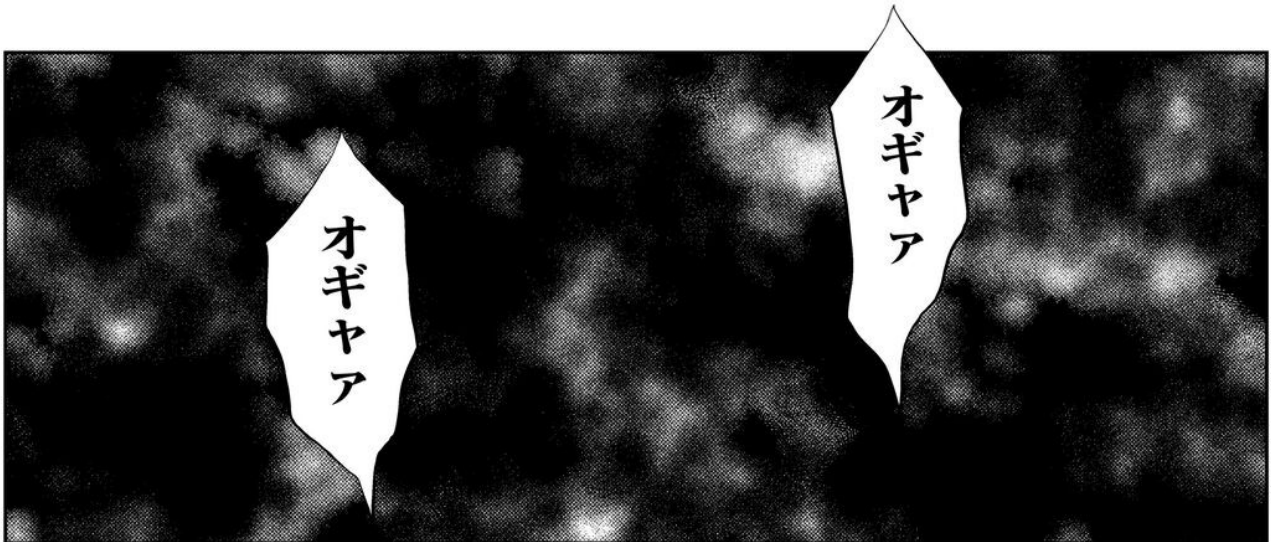
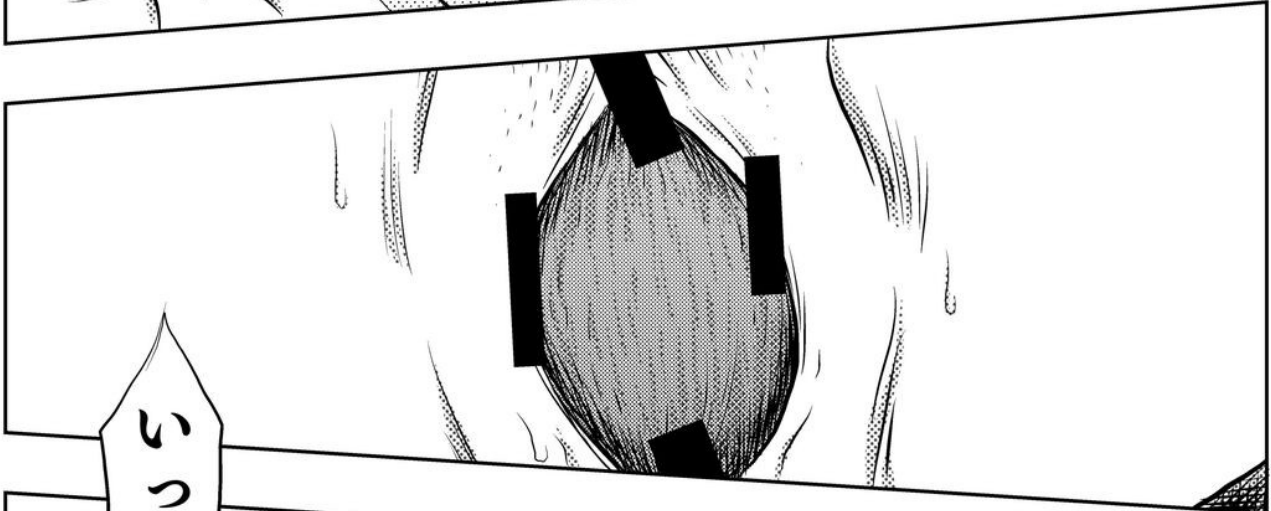
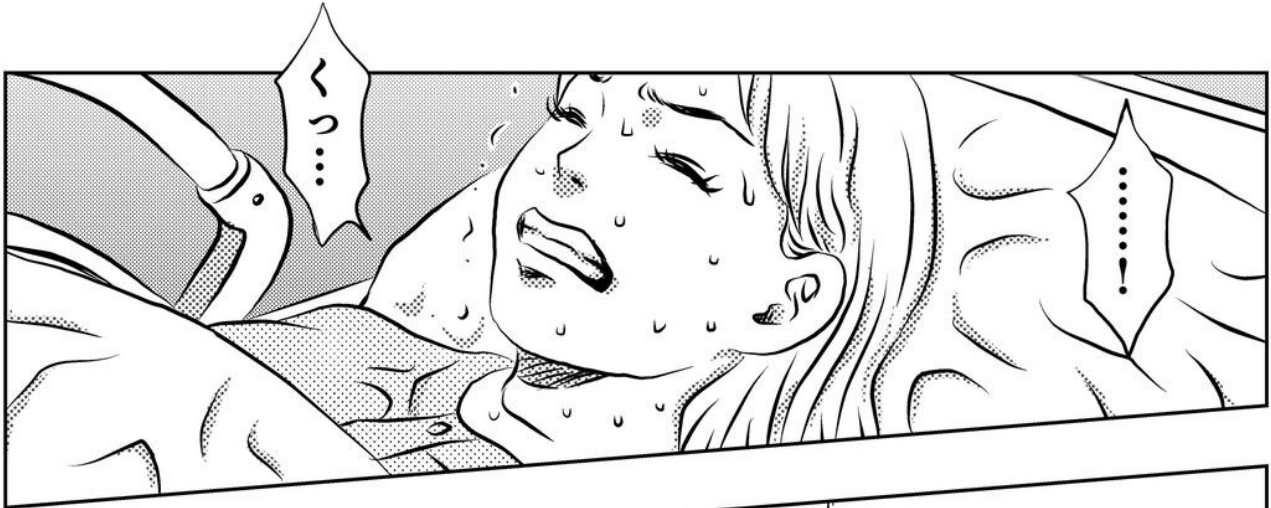
想いを
大切に
育ててきた

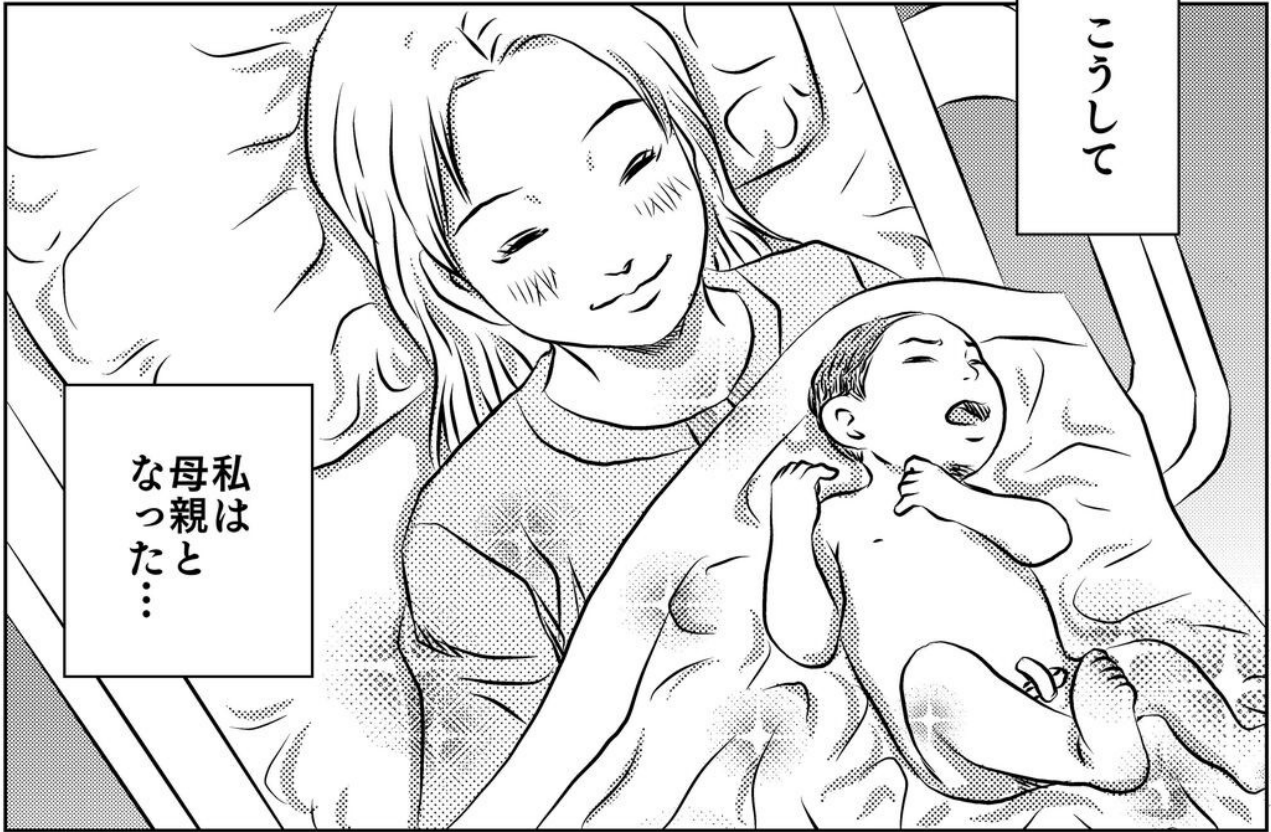


出会った
瞬間から

彼のことが
好きだった







私とは
母親と
なっ
た...

こうして



明日嵐土の
父親を紹介
したので

お母さん



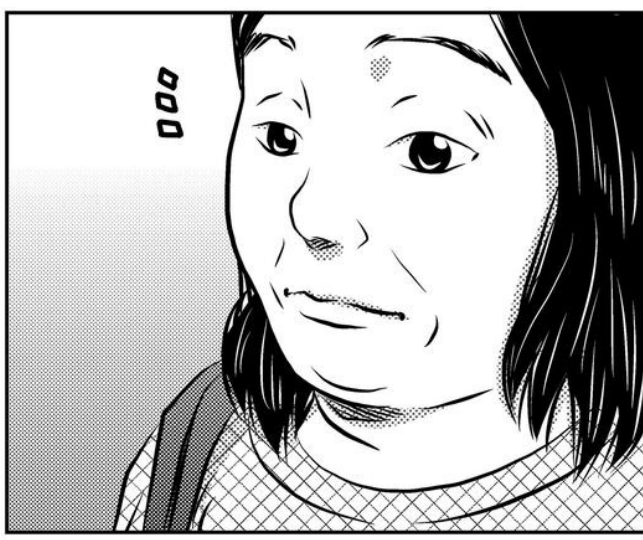
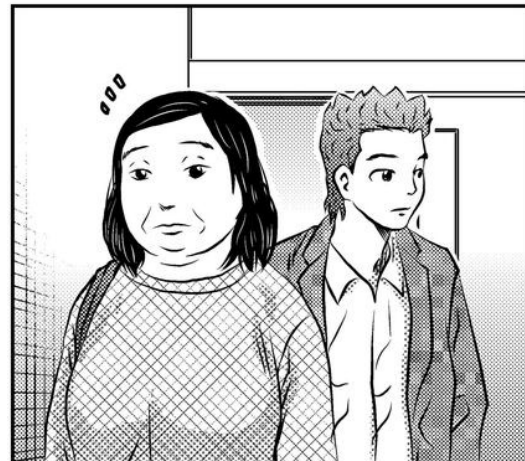
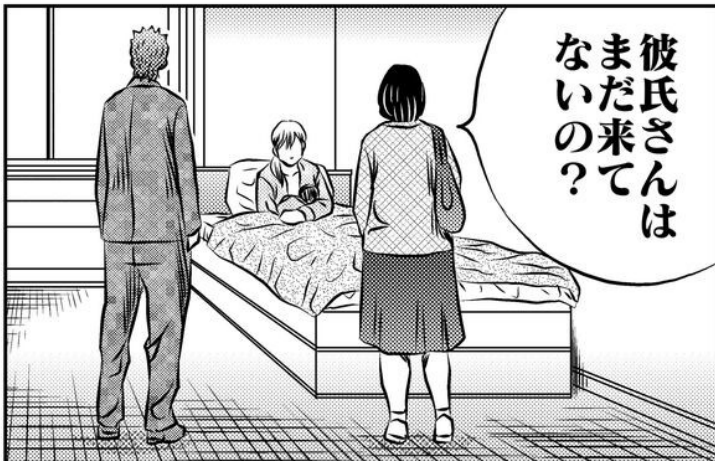
お父さんと
2人して
病院に来て
ください

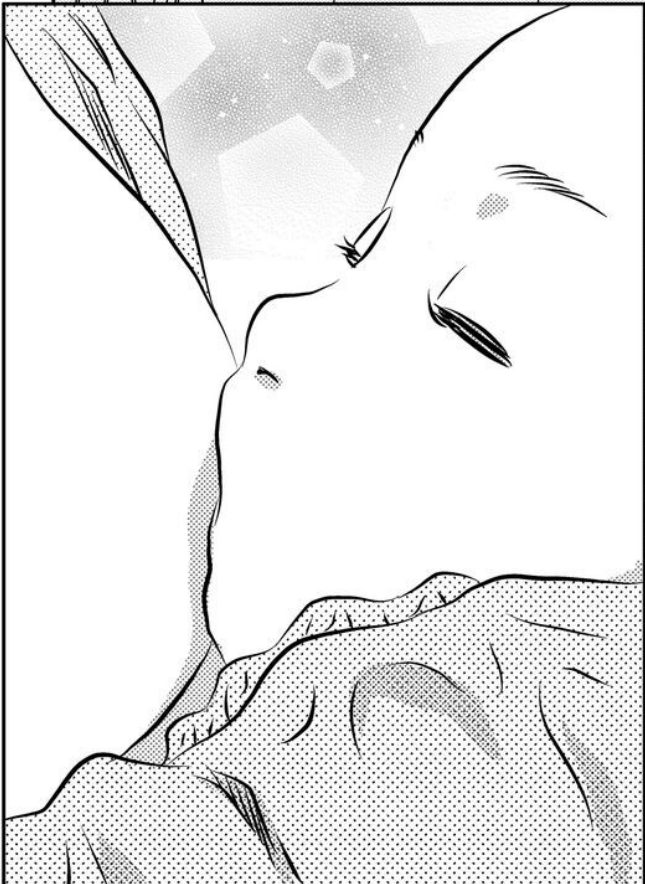
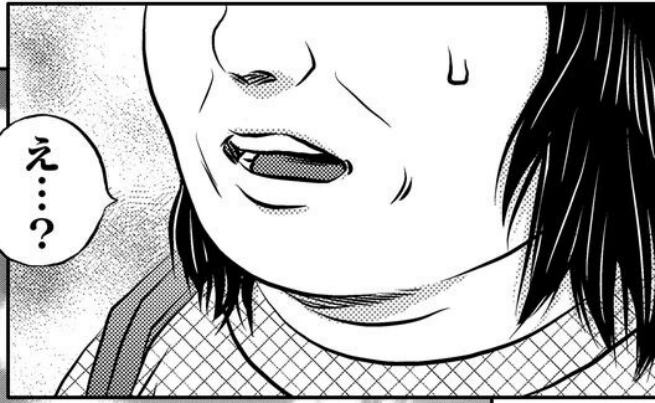
可愛い

息子には

嵐土

嵐土と
名付けた









私がいつか
クラスメイトに
彼氏がいます
言ったのは

このことが
バレないように
カバムフラージュ
してたの

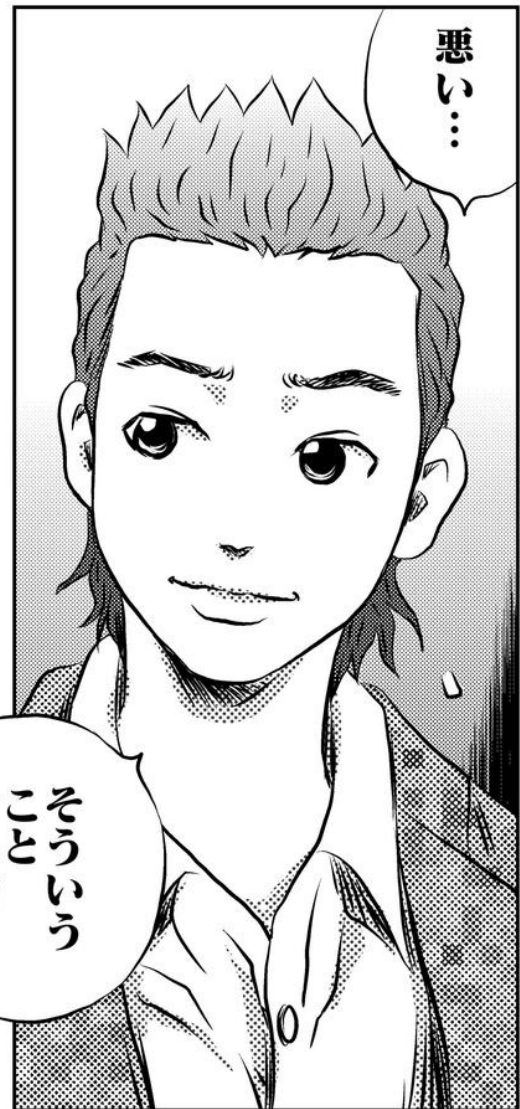
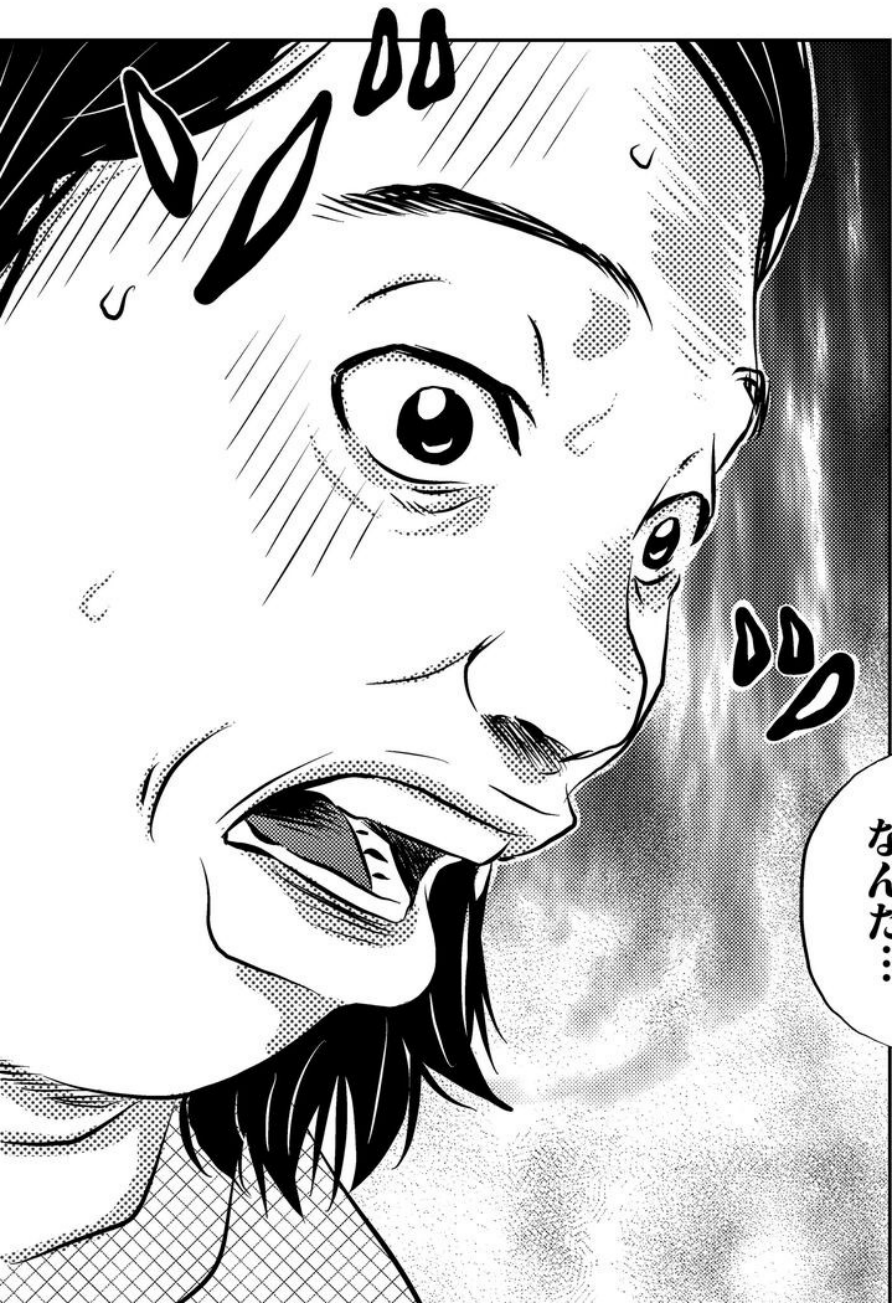


ずっと
永い間…



私から
の愛心は…
は…
た

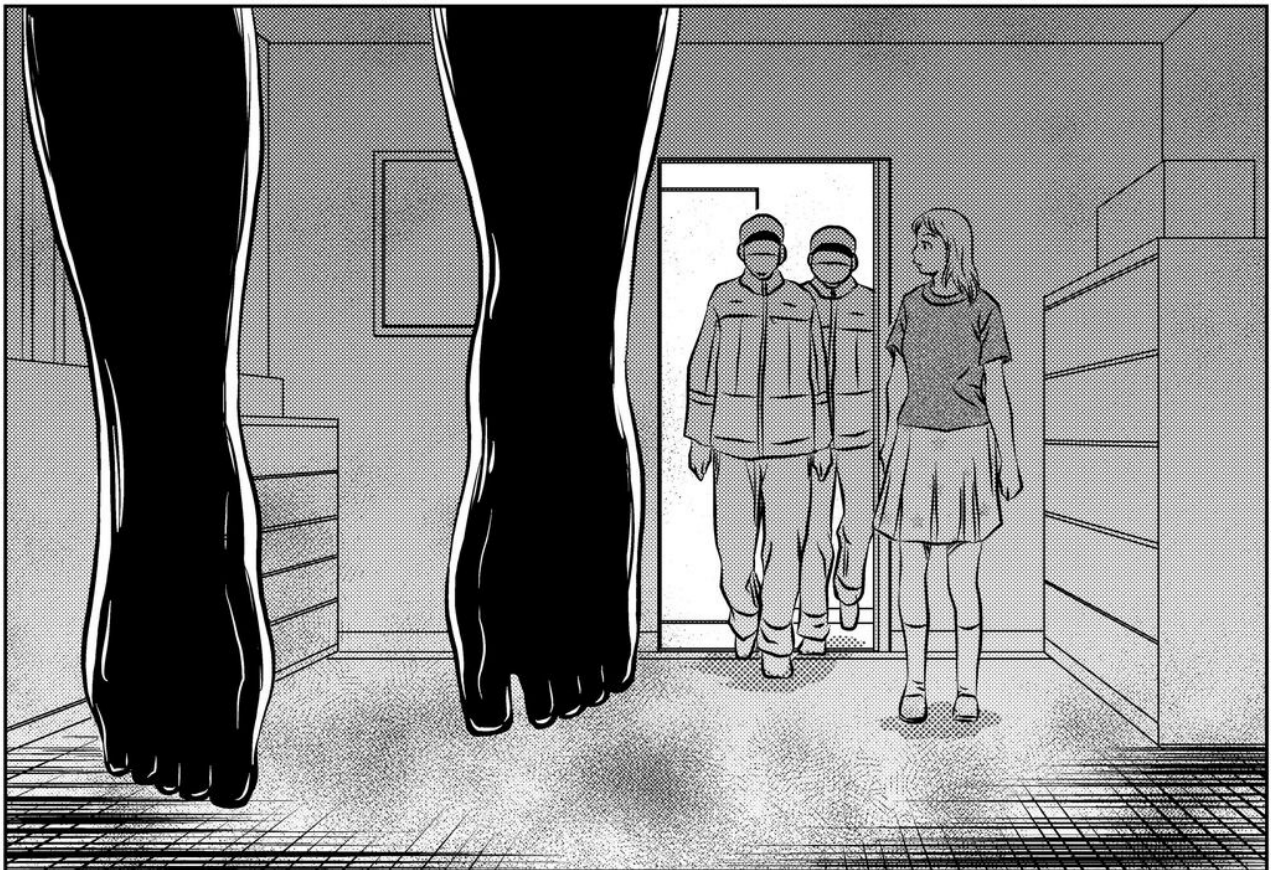
この人
だけの!!



過去何度も
繰り返されて
きた

母の
自殺未遂
騒動も

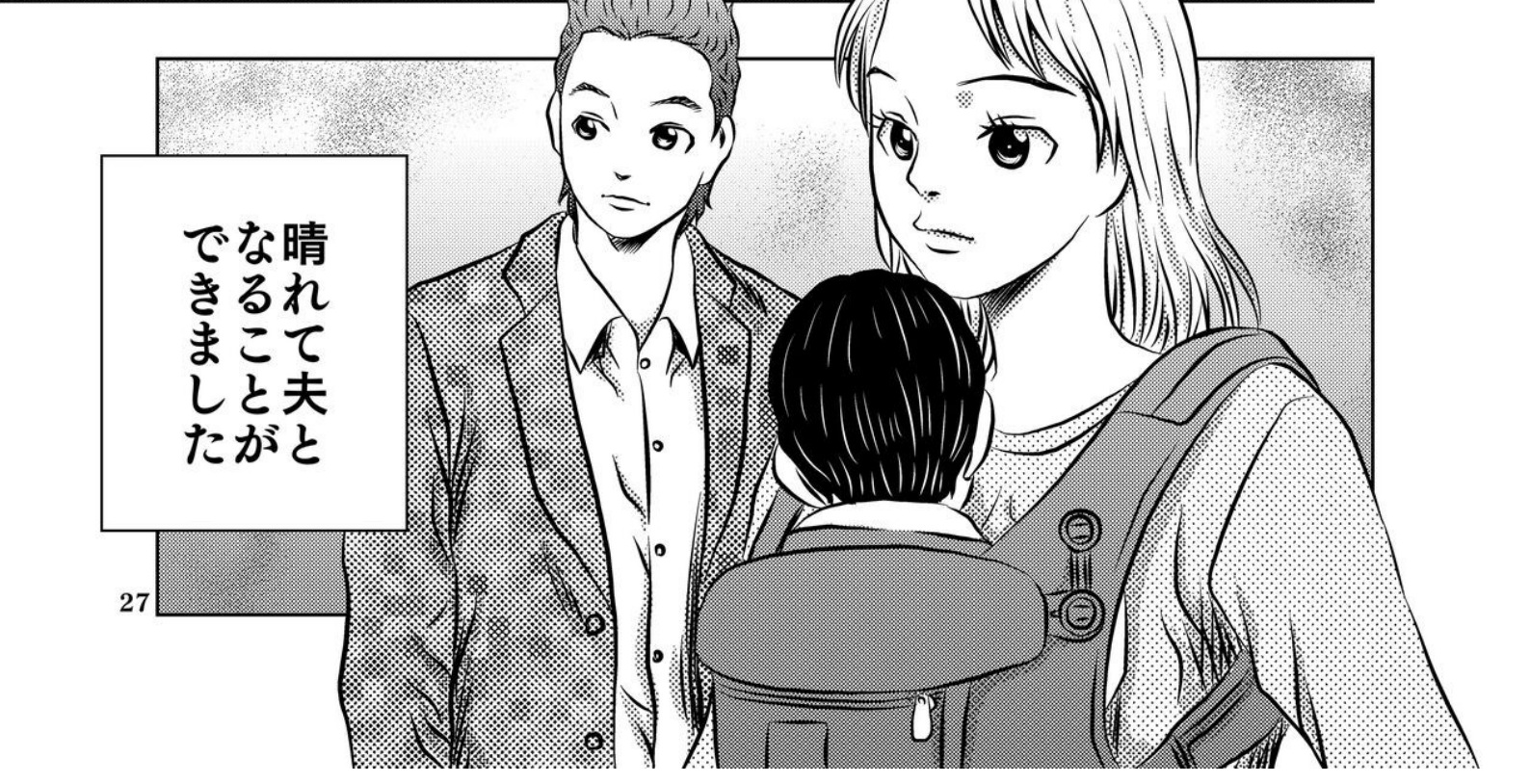
遂にー



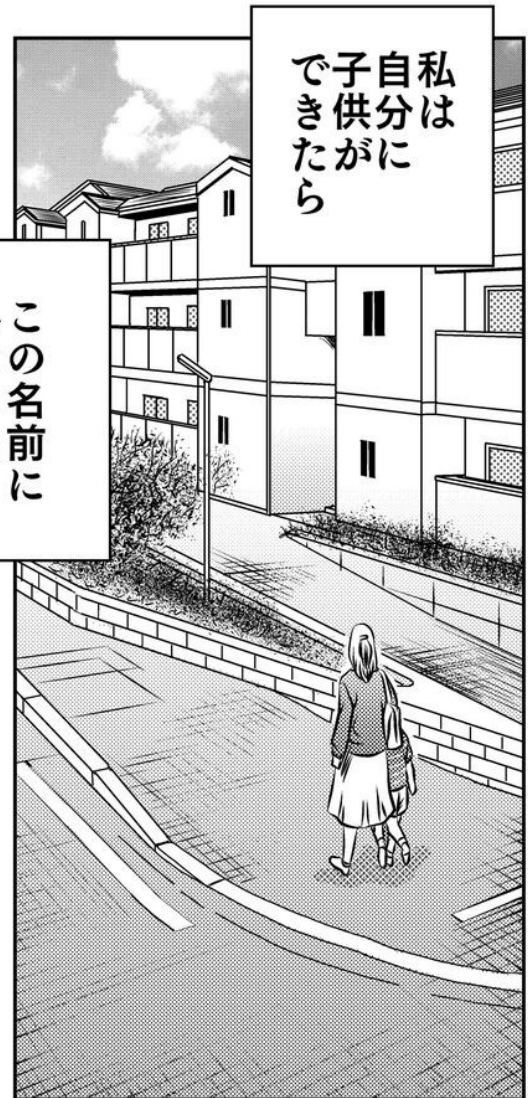


こうして
永年の
私の父
親
だった

貴^カ久^レは…



晴れて夫と
なることが
できました



この名前にしよう